

年末年始における建設現場の災害防止に関する取組について

島原労働基準監督署

島原労働基準監督署管内の建設業における労働災害については、長期的には減少していたものの、平成24年はその前年と比較して増加、3月には公共工事で1名の死亡災害が発生しています。

また、年末年始は、工事の輻輳化などで労働災害の危険性が増大し、労働災害が増加する傾向にあることから、当署では、国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所、長崎県島原振興局、島原市、雲仙市、南島原市の公共工事発注機関及び建設業労働災害防止協会長崎県支部島原分会と連携し、年末年始における建設現場の労働災害防止の取組を行いました。

ここでは、当署における指導状況とともに各発注機関が実施した安全衛生点検結果の集約についてお知らせします。

1 当署における建設現場への指導結果について

(1) 指導現場数	26現場
(2) 何らかの法違反のあった現場数	12現場(全体の46.2%)
(3) 主な法違反の内容	
・ 元方事業者が関係請負人を適切に指導していないもの	8現場
・ 足場を使用させるにあたり適切な措置を講じていなかったもの	6現場
・ 計画届が提出されていないもの	2現場
(4) 立入禁止や変更命令の行政処分を行った現場数	3現場

2 建災防島原分会の安全パトロールの概要

12月19日、建災防島原分会が行う建設現場の安全パトロールに参加、2班(島原市・南島原市方面、雲仙市方面)に分かれ、合計10現場について、墜落・転落災害及び建設機械による災害防止対策を重点的に点検し、ブロック積み作業における前面への墜落防止対策、土止め支保工の設置方法及び建設資材等の整理整頓等について指導しました。

3 国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所の安全大会へ参加

12月4日、国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所が主催する安全大会に参加しました。この大会は、同省直轄工事にかかる安全管理の向上のために開催されているもので、建設業者ら約50名の出席がありました。

当署の担当職員より、「工事現場の安全管理について」と題して、建設現場で発生した災害事例をもとに具体的な原因・対策等を説明しました。

4 各公共工事発注機関が実施した安全衛生点検実施結果について

(1) 実施現場数	89現場
-----------	------

(2) 取組が低調だった項目

- ・ 足場に適切な手すりが設けられていなかったもの 4現場
- ・ 移動式クレーンに接触の恐れがある個所に労働者を立ち入らせていたこと 4現場
- ・ コンクリートカッター作業時に防じんマスクが着用されていなかったもの 1現場

当署では、年度末の災害防止に向けて、今後とも関係団体・機関と連携し、建設現場における労働災害防止に取組でいくこととしています。